

明治大学大学院教養デザイン研究科 修士学位取得のためのガイドライン

【本研究科で授与する学位】

教養デザイン専攻 修士（学術）：Master of Arts

【修士学位請求の要件】

在学期間

本研究科博士前期課程2年次に在学し、所定の研究指導を受けていること。

単位要件

- (1) 本研究科博士前期課程の履修にあたっては、以下の要件を満たし、32単位以上を修得しなければならない。
 - ア コース必修科目のうち、指導教員が担当する専修科目8単位（演習Ⅰ～Ⅳ）を必修とする。また、共通必修科目2単位を必修とする。
 - イ コース選択科目については、所属コースから6単位以上を修得しなければならない。
 - ウ 他研究科（専門職学位課程を含む）及び単位互換協定による他大学院の授業科目については、指導教員及び当該授業科目担当教員の承認を受け、8単位を限度として、修了に必要な単位数に含めることができる。
 - エ 研究科間共通科目は、指導教員が必要と認める場合には、4単位を限度として、修了に必要な単位数に含めることができる。
- (2) 上記に定める単位を修得し、その成績が平均「B」以上の者。

研究指導

以下に掲げる本研究科学位請求までのプロセスを経ている者とする。

【学位請求までのプロセス】

研究指導体制

半期ごとに、指導教員から論文作成指導を受け、2年間の論文作成計画により提出できるよう努力することが必要である。

1年次春学期

- ・春学期初めに、指導教員の指導のもとに各自の履修・研究計画を立て、4月中旬に当該年度の「履修計画書」を提出する。
- ・5月下旬に、入試の際に提出した「研究計画書」を基礎に「研究計画概要」を作成し提出する。

1年次秋学期

- ・秋学期初めに、指導教員の指導のもとに副指導教員を決定する。副指導教員は、本研究科で授業科目を担当する教員から選定する。
- ・11月下旬に「論文作成計画書」を提出する。
- ・12月上旬までに「論文作成計画書」をもとに第1次中間報告を行い、修正後、指導教員及び副指導教員と面談のうえ、承認及び指導を受ける。

2年次春学期

- ・春学期初めに、指導教員の指導のもとに各自の履修・研究計画を立て、当該年度の「履修計画書」を提出する。

- ・ 5月上旬に、「論文作成計画書」にもとづいて作成した「論文概要1」を提出する。
- ・ 6月上旬までに、「論文作成計画書」をもとに第2次中間報告を行い、作成指導を受ける。

2年次秋学期

- ・ 秋学期初めに、「論文概要2」を提出し、10月上旬までに第3次中間報告を行い、当該論文の題名・内容・構成等について確認及び指導を受ける。
- ・ 10月中旬の修士学位請求論文の予備登録後、12月中旬までに指導教員に事前提出を行い、論文提出の承認を得る。

【修士論文に求められる要件】

修士論文は、広い視野に立った深い教養と専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を示すと認められるものでなければならない。

以下を修士論文に求められる要件とする。

(1) 研究目的

- ・ 問題提示の明確さ
- ・ 先行研究の整理
- ・ 研究意義

(2) 論文内容

- ・ 論文の構成(章や節を中心とした全体構成)
- ・ データや資料の分析力
- ・ 論証の説得性
- ・ 課題設定と結論の整合性

(3) 形式的要件

- ・ 執筆要項の遵守(表記の的確さ)

(4) 論文としての構成とまとめ

修士論文は40,000字以上とする。また、外国語で論文を執筆することを希望する場合、事前の申し出により、これを認めることがある。

【修士学位請求論文等の提出書類・提出期日】 ※詳細は「修士学位請求論文」作成・提出要領を参照

予備登録

- (1) 予備登録時期は論文提出年度の10月中旬とする。
- (2) 論文提出予定者は、必ず指導教員と相談のうえ、論文題名(仮題でも可)を登録すること。
- (3) 予備登録後に論文を取り下げる場合は、面接までに取り下げ願い書を提出すること。

提出書類等

(1) 「修士学位請求書」

必要事項を記入のうえ、指導教員の承認を得たうえで提出すること。

※この請求書に記載された論文題名を正とする。

なお、論文題名に副題がある場合は、ダッシュ(一)で最初と最後を括ること。

(2) 「修士学位請求論文」(下記①～④により完成されたもの)

①用紙：A4判(横書き又は縦書き)

図表・資料もA4版で作成すること。

②字数：40,000字以上(英文の場合は10,000ワード以上)

※必ずページ番号を付すこと。

③書式：研究科の定めによる。

※縦書きの場合は2段組にする等、読みやすいよう配慮すること。（論文要旨も同じ）

④「扉（表紙）」（教養デザイン研究科のホームページからダウンロード）

必要事項を記入のうえ、論文の表紙とすること。

(3)「修士学位請求論文要旨」

A4版、3,000字程度（英文の場合は750ワード程度）で作成し、論文題名、所属研究科名・専攻名・氏名等を明記すること。

論文提出

(1)論文提出時期は論文提出年度の1月上旬～中旬とする。

(2)Oh-o!Meijiグループへの提出を原則とする。

ただし、ファイルサイズ（30MB）の制限などにより Oh-o!Meiji での提出ができない場合は、別途、研究科の定める方法により提出する。事前にファイルサイズを確認し、30MBを超える可能性がある場合は、提出期間前に提出方法について研究科に問い合わせること。

なお、受付は、指定提出期間内のみとし、提出締め切り時間経過後は、理由の如何を問わず受け付けられないので、十分注意すること。

【学位審査の概要】

指導教員による承認

修士学位を請求しようとする者は、修士論文提出要件を満たし、指導教員から当該論文の内容・水準・形式について確認及び指導を受け、指導教員が修士学位請求に十分な水準であるとの判断をした場合に、論文を提出することができる。

研究科委員会での受理

研究科委員会は、学位請求論文に対して受理を決定し、主査1名及び副査2名以上（副査には他研究科・他大学等の研究者を選定することがある）の審査委員を選出する。

審査委員による面接試問

(1)審査委員は、当該学位請求論文を中心としてこれに関連ある科目について、試問の方法により審査を行う。審査終了後、審査委員は研究科委員会に合否の提案とその理由を記した審査結果報告書を提出する。

(2)面接試問は、論文提出年度の2月上旬に実施する。

研究科委員会の合否判定

研究科委員会は審査委員からの報告をもとに、審議のうえ合否を決定する。研究科委員会で合格と認められた者には、修士学位が授与される。

【合否判定後の論文の取扱いについて】

審査に合格した論文は、本学大学院で保管し、教育・研究のために活用する。

教養デザイン研究科（博士前期課程） 学位請求までのプロセス

